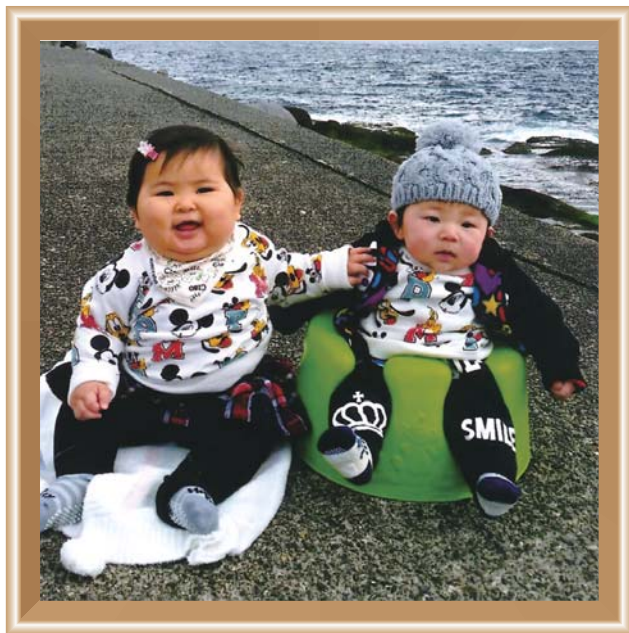


# わが家のアイドル



吉佐美にお住いの  
**土屋 闘志さん・涼さんの**  
しおん  
**長男 志碧 くん (0歳5か月)**  
(写真右)

こんにちは！つちやしおんです。  
 僕は毎日須崎のじーじとばあばの家に遊びに行きます！  
 仲良しの葵ちゃんあおいと恵比須島で写真を撮りました。  
 葵ちゃん、いつまでも仲良くしてね。

みなさんのお宅のアイドルを募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せください！



「町をつくる」ということ  
 下田市地域おこし協力隊  
 田中剛

昨年7月の着任から半年が経ちました。「中心市街地活性化」という任務を受け、商工会議所に席をいただきイベント（大特産市など）をお手伝いしてきました。

実は、30年近くの間、下田に住まいを借りてみたり、民宿の手伝いをしてみたりして、大分馴染んでいたつもりでした。

しかし、「旅人、他所者よそもの、来訪者」から、「下田の住人」となり、前者には見えないものを感じられない思い、ここに住む人ならではの意識のようなものを肌身に感じ、まだ何も下田のことを知らなかったのだと痛感する毎日です。

さて、町を活性化するという仕事は、とてもやり甲斐のある仕事だと思っています。全国的に地方都市の産業活力や人口が減少していく流れの中、下田をどう立ち直らせるのか？既に多くの方々を取り組んできて、まだまだ十分な結論を見出すことができない重いテーマであることは十分承知していますが、「町をつくる」という作業は、心躍らせるものがあります。

く作業に取り組みたいと思っています。これが「町をつくる」ということだと考えています。日々、町を歩き、人に会い、怒られ、褒められ、笑ったり、泣いたり、勉強して、提案していききたいと思えますので、よろしくお願ひします。最近、「とても下田らしい景色だ」、と思うのは寝姿山です。日々の生活の中、海から山から、川から、国道から、



地域おこし協力隊としては、下田の「人々」、「たたずまい」、「歴史」などと対話しながら、一方で日本や世界中の流行を見定めて、これからの時代に向けてこの町が育むべき「特異性」を見出し、育ててい

そして街中まちなかから寝姿山を仰ぐと「下田のためにがんばります。」という気持ち自然と湧いてきます。

## 問合せ先

産業振興課産業振興係

☎ 23914



## 伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう！！

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPRしましょう！！ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>